

## 参考資料

### 防火性能評定・関係法規など

#### 区画貫通部の防火措置について

区画貫通部の防火措置の基本目的は、火災が発生した場合に、壁・床などの区画を貫通するケーブル・配管等の設備部材またはその周囲から、反火災側へ火災が延焼・拡大することを防止することにあります。従って法令に定められた性能を保有した措置を施す必要があり、この防災性能(材料・施工手順などを含む)を評定する制度として、防火区画に対しては、(財)日本建築センター(BCJ)評定があります。また、消防法に定める令B区画、共住区画に対しては(財)日本消防設備安全センター評定がありません。(表参照)

評定制度	(財)日本建築センター(BCJ)評定	(財)日本消防設備安全センター評定
法令	建築基準法	消防法
対象区画	防火区画	令8区画・共住区画
耐火性能	当該貫通する区画に求められる耐火性能時間以上(基本的に2時間耐火)	
性能試験	(財)建材試験センターなど	
通知先	特定行政庁	都道府県消防
公表	「ビルディングレター」	「フェスク」